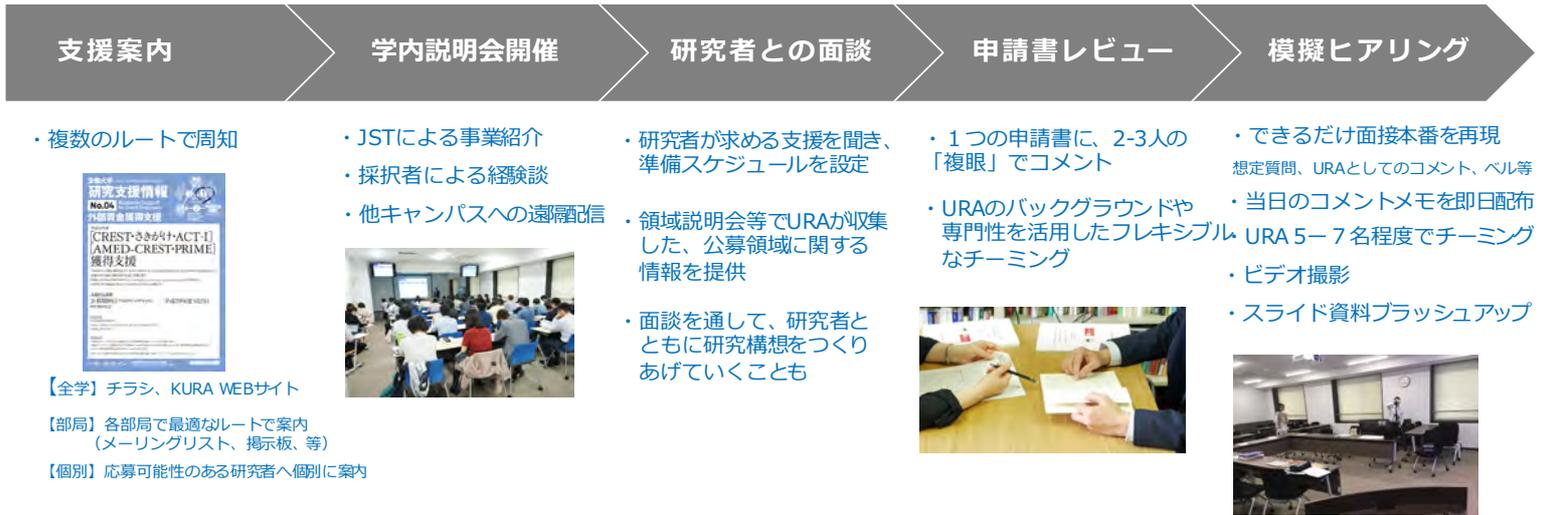


CREST・さがけ獲得支援の効果的な体制構築を目指す京都大学の取り組み

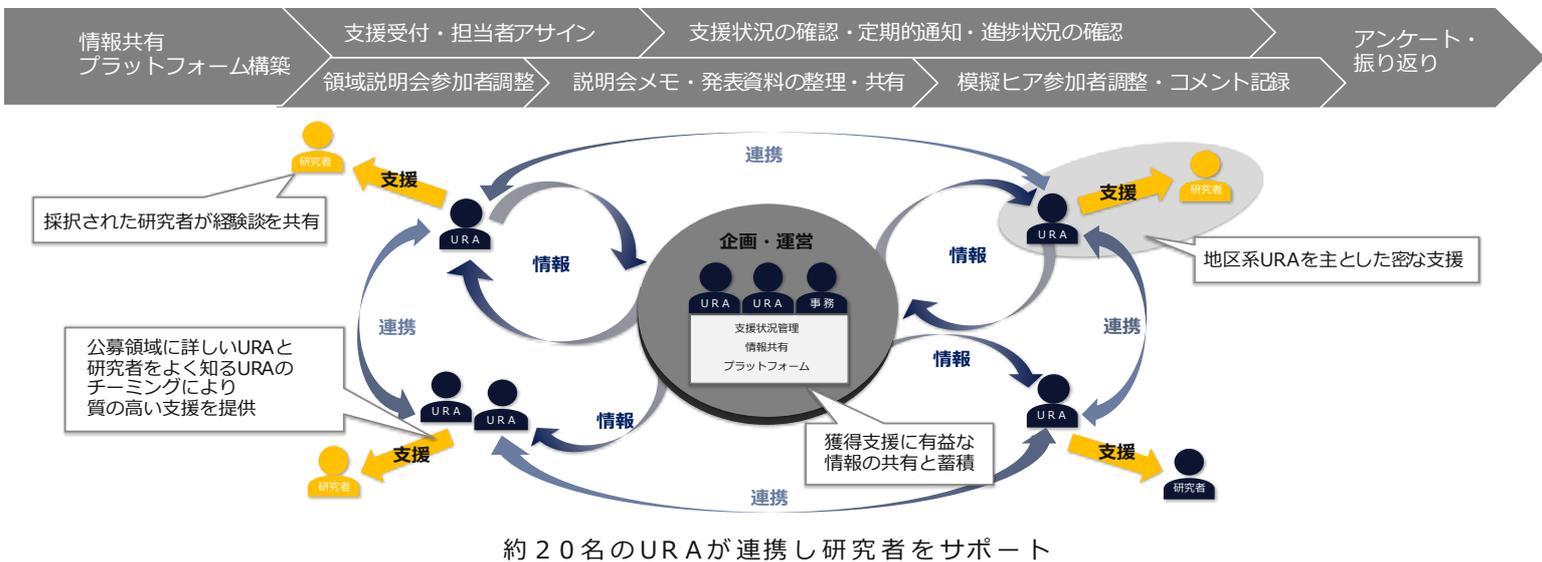
橋爪 寛、藤枝 絢子、渡辺 玲奈（京都大学 学術研究支援室）

京都大学 学術研究支援室（KURA）は、JST「CREST・さがけ・ACT-I」とAMED「AMED-CREST、PRIME」の公募領域の研究テーマを持つ本学の研究者が、もれなく情報を得て、適切なタイミングで応募を検討し、研究を提案できる環境づくりをめざしています。ここでは、支援の内容およびそれを支える運営体制の2つの面で、この取り組みをご紹介します。

◆支援の内容 支援数 **226件** 模擬ヒアリング実施数 **49件** *H25-29実績



◆支援の運営と実施体制



◆支援した研究者からの声

<情報提供>

「科研費申請との違いについての資料や公募説明会の様子のレポートは大変参考になった」
「要項では読み取れない、領域の求める課題についての情報を教えて頂いたことは大変役に立った」

情報提供満足度 **88%**

<申請書レビュー>

「戦略目標や領域内で重視している点を十分に把握し、申請書作成において適切なアドバイスがあった」
「多角的な視野や、大学内外の動向、期待していた以上の提供があった。また、単に文章を直すだけでなく、様々な提案を頂いた」

申請書レビュー満足度 **79%**

<模擬ヒアリング>

「スライド作成のポイント、雰囲気や面接の順序（進み方）、どんな点に領域アドバイザーたちが食いつかれるか、など実際の具体的な情報が手にはいった。また、領域アドバイザーのご専門などに関する詳細な情報も手に入り結果として非常に対策をしやすかった」

模擬ヒアリング満足率 **96%**